

「台では珍しいほど降り積った下カ雪の中、懐かしい面々が元氣よく集合。

新主幹事の36高橋氏が司会デビュー！

青森職業能力開発短期大学校長・6平川直弘会長より年頭のご挨拶。ご持参の「青森りんごワイン」の芳醇な香りを一同楽しみつつ、津軽地方の厳しくも美しい自然、人情・風土、難解ナル方言などにつきお話を伺いました。

その後、和氣あいあいとした雰囲気のもと、自己紹介や仕事のお話、よもやま話など、楽しいひとときを過ごしました。

なかでも、当会一の燃える男、中20佐藤敦久氏は、現役新宿高校生！のお孫さんがダウンロードしてくれた「六中行進曲」のCDを持参され、その歴史的背景につき自らの学徒動員体験も交え緊急レクチャー。全員で合唱しました。

また、仙台の地を遠く離れてなお「特別会員」として名を連ねている方が多数おられるのが当会の特徴の一つですが、今回も横浜から参加の永遠の若大将、31中越氏に加え、日立製作所（横浜市勤務）と東北大学大学院特別聴講生の「二足の草鞋」を履く38矢作保夫氏が新たに参加。さらに、中越氏と同期の紅一点31長久保（旧姓里住）

宮城朝陽同窓会平成十六年新年会

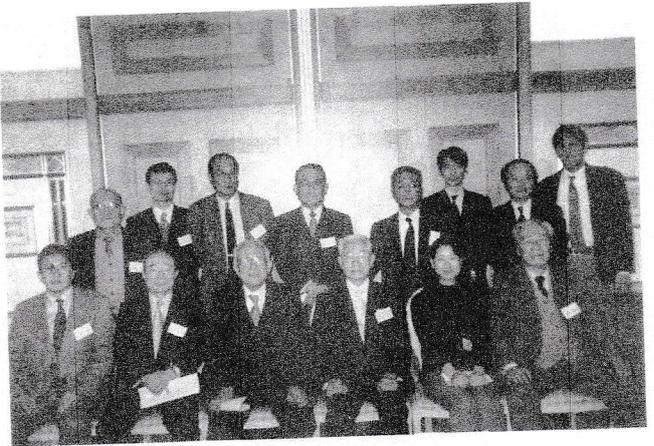
平成十六年一月二十三日（金）

一八・三〇～二一・〇〇

仙台市青葉区本町（広瀬通り）

パレスへいあん7Fシヤンテの間にて

「朝陽」53号(2004年)P



案の支出額が二度も上方修正されるウレシイ誤算!?となりました。

記念撮影の後、宴の締めくくりはお待ちかね、「六中健児の歌」。

今回欠席の中18萩原大先輩に代わるピンチヒッターとして登場の中越氏の指揮で全員で高らかに斉唱いたしました。

今年は参加者数が少なめであったこともあり、一つのテーブルを囲んで皆が膝を突き合わせ話をするという、終始アットホームな、当会の原点に帰ったような雰囲気のものでありました。

その他の出席者..

2 小野寺茂・4 岩井鐵也・5 奥田慎一

9 青木恭規・10 武田幸雄・20 清田啓夫

【平成十六年度役員】

名誉会長 島内武文 顧問 本間正樹

会長 平川直弘 副会長 岩井鐵也

主幹事 高橋一隆

幹事（事務局・会計） 38 小田島肇

お願い..宮城県に転勤または入学されました折は、ぜひとも事務局までご連絡ください。宮城朝陽同窓会名簿を差しあげます。

また、来年の新年会のご案内もお知らせいたします。

明美氏も初参加で華を添えられました。

その他、残念ながら欠席されましたが、2 永澤秀夫氏からは、ご自身が東北大学末来化科学技術共同研究センターにて進めている「知能型福祉介護機器開発プロジェクト研究開発」の報告書の提供がありました。

終盤「館山寮」大改修工事への寄附を緊急提案。「ケケケチすんな！」と事務局提